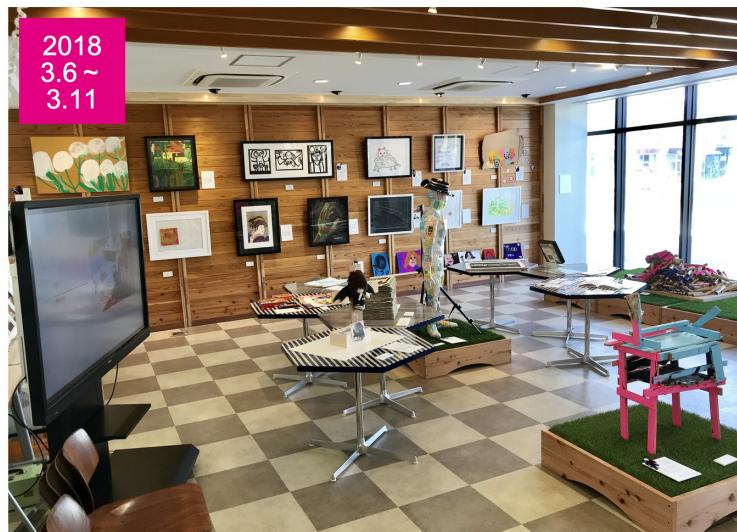


2 CoRE & CDL TIMES

2018.SPRING

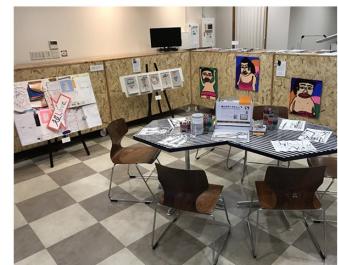
発効日：2018年6月30日（季報）



2018
3.6～
3.11

平成29年度鳥取県障がい者アート活動支援事業 アートスペースからふる展

障がい者福祉作業所として平成30年度で5年目となる「アートスペースからふる」。「アートを仕事に」の主旨のもと、地元鳥取のギャラリーや店舗などで、障害のある方が絵画を描く機会を得るために支援を行っています。CDLでのからふる展では、27名の作品が展示され、およそ一週間の展示期間で延べ256名もの来場者がありました。



2018
3.14

森林未来フォーラム 智頭の美林を誰がまもるのか ー地域からみる森林管理ー

国的重要文化的景観に選定されている鳥取県智頭町の林業。林業の問題として中山間地域の限界集落化と、森林の管理不全は表裏一体の現象として進展してきました。「智頭町における土地・家屋の管理と生活についての調査」（片野洋平 准教授）、「森林組合等林業事業体の経営改善の方向を把握するための調査」（芳賀大地 助教）、「森林の管理経営を誰が担うのか 一国の森林政策の方向とヨーロッパの森林管理システム」（大住克博 教授）の報告に学びながら、地域の持続性と森林の持続性を同時に達成する森林管理の在り方を40名程の参加者が考えました。



2018
3.26

乳幼児ふれあい体験



鳥取県子育て王国推進局子育て応援課様からの提案を受け、自らのキャリアデザインや「ワーク・ライフ・バランス」をあらためて考えるきっかけづくりとして、本学キャリアセンター 長尾准教授の呼びかけのもと開催された「乳幼児ふれあい体験」。子どもが大好きという学生や、逆に小さな子どもとの接点が今まであまりなかった学生なども参加し、赤ちゃんと直接ふれあう体験に、参加者は小さな体に宿る生の力を感じ、命の大切さ、子どもを育てるということへの具体的なイメージを持つことができたようです。

赤ちゃんを抱っこしたり、子どもと遊んだりするうちに、子育てのことに興味が出てきた学生は、「大学生のうちに今回のような体験が出来て良かった」「寝かしつける大変さがわかった」と感想を述べていました。

実施団体：ママの働き方応援隊 鳥取校

2018
3.30

平成29年度 地域貢献支援事業成果報告会

ローカル酵母による新規クラフトビールとパンの試作



酵母は、パンやビールなど酒類を含む発酵食品・飲料の製造に用いられ、最も身近な有用微生物です。酒等アルコール飲料製造に必要不可欠なだけでなく、風味や香りの面で様々な付加価値を発酵生産物に付与しています。

大学院連合農学研究科の児玉教授が行う地域資源である天然酵母の活用による地域産業創造・地域活性化プロジェクトの成果報告会がCDLで行われました。児玉教授は、特徴的な地域資源から天然・野生酵母（「ローカル酵母」と命名）を分離して、遺伝子解析技術等による分離酵母の正確な同定（種名の決定）や、発酵試験などを通した有用・新規酵母の選抜を行ってきたことを説明されました。鹿野城址公園や本学ともゆかりのある袋川桜土手の桜（ソメイヨシノ）の花、また、布勢の二十世紀梨原木から、非常に興味深いローカル酵母を発見することができ、これらの酵母を使用して、実際にパンやビールが製造できることを示しました。

試作したビールについて

今回、作った2種類のローカル酵母クラフトビールを、報告会に参加した皆さんで試飲しました。醸造は石見麦酒様（島根県江津市）です。どちらのビールも、大手メーカーのビールや様々なクラフトビールのどれとも違う美味しいビールでした。

● サクラ・サワーエール

鹿野城址公園のソメイヨシノの花から分離したユニークな酵母（桜酵母）によるエール（上面発酵タイプ）ビールです。とても珍しいサワービールで、爽やかな酸味が特徴です。



● 二十世紀梨エール

有名な布勢の二十世紀梨原木から分離したパン／ビール酵母によるエールビールです。独特のコクと香り、ほのかな甘みが特徴です。



試作したパンについて

鹿野城址公園のソメイヨシノの花から分離したユニークな酵母（桜酵母）で作ったパンです。パンを作製したのは、鹿野町の一心庵様です。これまでパンには使われたことがない珍しい酵母ですが、立派なパンが出来ました。

2018
5.30

平成30年度 地域価値創造研究教育プログラム(地域実践型教育活動(地域連携授業))

鳥取大学工学部専門科目「ものづくり実践プロジェクト」企画提案発表会

子どもを対象としたIoTプログラミング教材の開発



地域の企業と連携して製品開発に取り組む実践的な授業「ものづくり実践プロジェクト」および「実践プロジェクトⅠ」の受講生グループが、つくろうと考えている製品案について発表しました。

今回は株式会社アクシス様との連携のもと、子供を対象としたプログラミング教材を開発するということで、学生が発表する様々なプロジェクトアイデアに対し、企業側からの鋭い指摘や改善点・助言に学生たちは真剣に耳を傾けていました。

ものづくり教育実践センターの
ホームページで、これからのイベン
ト情報などをチェック！



鳥取大学工学部附属
ものづくり教育実践センター
Innovation Center for Engineering Education, Tottori University

<https://site.icee.tottori-u.ac.jp>

地域の課題を解決する 大学の 研究教育活動

CoRE 地域価値創造研究教育機構
Platform for Community-based Research and Education



鳥取大学では、国際的な成果を生み出している乾燥地科学や医工農連携の研究拠点機能を強化する一方で、地域と共に歩んできた伝統を継承し、様々な地域課題の解決に取り組む地域参加型・実践型の研究教育活動を、地域価値創造研究教育機構（CoRE）が中心となって推進しています。

現在は、次のようなプロジェクトを進めていますが、これらはいずれも、地域の皆さんと連携して取り組むもので、研究成果が地域社会や企業活動に活用され、育成した人材が地域に定着し活躍することによって、人口減少、産業空洞化などの課題を克服していくのに貢献しようとするものですので、皆様にも積極的な課題提供や活動参画等をお願いいたします。

以前から継続して進めているプロジェクト

37件

1 山陰の地域課題研究を通じた人口希薄化社会の新たな価値発見・創造のための教育研究プロジェクト

田園回帰インターンシッププログラム開発、小規模ビッグデータを用いた地方都市の生活行動分析

等19件

2 地域の1次産業基盤の強化のための各種研究プロジェクト

未利用生物資源活用技術の確立、大規模経営を支えるスマート農業の実績

等17件

3 附属学校・地域と連携した子供の発達支援と教師の成長プロセスに関する学際研究・実践プロジェクト

学内から毎年公募するプロジェクト

50件

1 地域参加型研究プロジェクト

成熟産業における市場創造に関する実証研究、AI・IoT時代の地域人材育成に向けた企業連携型社会教育の開発と試行

等19件

2 地域実践型教育活動（地域連携授業）

地域課題を題材とした実践型ものづくり教育、地域連携による6次産業化支援人材育成プログラム

等12件

3 地域実践型教育活動（エクステンション・アウトリーチ事業）

プログラミング体験教室、国際理解教室、出前おもしろ実験室、農業経営ステップアップ講座

等19件

鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ 利用方法

鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ(CDL)は、鳥取大学の教職員や学生だけでなく、地域住民を始めとする学外の様々な方々にも、研修やセミナー、各種の発表会やイベントなどいろいろな目的で利用していただける施設です。皆さんに安全・快適に利用していただくため、次の事項については御承知・御順守いただくようお願いします。

専用利用

会員登録を受けた方は、スタッフが在室していない時間帯も含め、利用承認を受けて、室内の全部又は一部を貸し切りで利用することができます。

自由利用

CDLにスタッフが在室している時間帯(平日9時30分から18時まで)には、随時自由に入室し、空いている席で打合せや雑談、休憩等をしていただけます。

会員登録 鳥取大学の教職員、又はそれが利用責任者となる団体のみ

CDLの専用利用を希望される方は、所定の事項を用紙に記入して、CDLへ持参、若しくはメールにより提出してください。

(※以上の手続きは、近いうちにCDLのウェブサイト上で行えるようになります。)

▶▶▶ イベント毎の利用申請

会員登録を受けた方は、以下の事項をCDLのアドレスへメールで送信してください。

- ・登録時に指定された会員番号
- ・利用希望日時（「準備や後片付けを含め○時○分から○時○分まで利用。イベントは○時○分から○時○分まで」等と記載）
- ・利用目的（実施予定企画の名称及び概要を記載。学外の方が多く利用される場合、なるべく学内と連携・協働した内容となるよう心掛けてください）
- ・予定参加人数（教職員○名、鳥大生○名、一般○名）
- ・連絡先電話番号、住所及びメールアドレス（登録時と異なる場合のみ）



CDL利用時に学外者によるインターネット接続が必要な場合、事前に申請をしていただければゲスト用無線LANのアカウントを発行いたします。

その際、利用責任者には、ゲスト利用者の個人情報（氏名、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス）を提出していただく必要があります。不正アクセス等のセキュリティインシデントが発生した場合は、その発生に関わった利用者のほか、利用責任者もその責任を負うこととなります。

コミュニティ・デザイン・ラボ

コミュニティ・
デザイン・ラボとは?

地域価値創造研究教育機構(CoRE)による様々な活動をスムーズに、活発に行っていくための拠点であり、地域の住民、学生、教職員など、様々な方の**協働**を目的とした施設です。

CDL コミュニティ・デザイン・ラボ

所在地：鳥取市湖山町南4丁目101番地
(鳥取大学正門入ってすぐ 広報センター内)
TEL: 0857-31-5870
Mail: chi-cdl@ml.adm.tottori-u.ac.jp